

## VII 観光動態調査ルート分析

### 1. はじめに

#### ● 報告書について

この報告書は平成 27 年に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に作成した。また、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析したものである。

#### ● 調査地点について

高知県内の観光地（10 地点：室戸岬、桂浜、足摺岬、高知城、龍河洞、土佐和紙工芸村、モネの庭、アンパンマンミュージアム、黒潮本陣、四万十川）でアンケート調査を実施している。

#### ● 発地ブロックについて

- 旅行者の居住都道府県を地域ブロック単位でまとめ、発地ブロックと表している。各発地ブロックは以下の通りである。

北海道・東北	：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・新潟	：新潟県、富山県、石川県、福井県
甲信・東海	：山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
海外	：すべての海外旅行者

## 2. 立寄市町村割合

### ● 集計方法について

- 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した（する予定の）観光地」のうち、観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点を、市町村地域別に集計した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 非日常利用が多いと判断される地点であること。
  - 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
  - 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ（%表記）は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。そのため、合計が100%にならない場合がある。
  - 立寄市町村の16地域は以下の通りである。

01 東洋・室戸	: 東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	: 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	: 安芸市、芸西村
04 香南	: 香南市
05 南国・香美	: 南国市、香美市
06 本山・大豊等	: 本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	: 高知市
08 いの	: いの町
09 土佐・日高	: 土佐市、日高村
10 佐川・越知等	: 佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	: 須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	: 梶原町、津野町
13 四万十町	: 四万十町
14 黒潮・四万十市	: 黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	: 宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	: 土佐清水市、大月町

## ● 立寄市町村の傾向、および特徴

平成 27 年度観光動態調査の立寄市町村割合について、その傾向や特徴を記載する。

立寄市町村の延べ件数は、前年度の 9,299 件から今年度は 8,998 件と減少している。

県内 16 地域の立寄数（P133：表 2-1-1）をみると、最も多かったのは「高知」の 3,248 件（36.1%）で、高知県観光の中心になっている。次いで、「南国・香美」が 1,210 件（13.4%）、「黒潮・四万十市」が 820 件（9.1%）、「東洋・室戸」が 779 件（8.7%）、「土佐清水・大月」が 724 件（8.0%）となっている。この上位 5 地域で全体の 75.3%と大半を占めている。

発地ブロック別（P133：表 2-1-2）をみると、すべてのブロックで「高知」への立寄割合が最も多くなっているが、2 番目に多い地域は「北陸・新潟」、「甲信・東海」、「近畿」、「中国」、「四国」が「南国・香美」、「北海道・東北」、「関東」、「九州・沖縄」が「黒潮・四万十市」、「海外」が「土佐清水・大月」と傾向が分かれている。

年代別（P135：表 2-2-2）をみると、「高知」への集中度が高く、次いで 10 代から 40 代は「南国・香美」での立寄りが多くなっている。50 代と 60 代以上は「高知」への集中度が低くなる一方で、「東洋・室戸」、「奈半利・田野等」の県東部で全体平均を上回っている。

旅行形態別（P136：表 2-3-2）の傾向として、家族旅行は「高知」以外では「南国・香美」での立寄りが多くなっている。友人・知人との旅行では「高知」、「黒潮・四万十市」で全体平均を上回っている。団体旅行は立寄市町村が限られており、主に「高知」に集中し、「南国・香美」、「いの」も多くなっている。一人旅では、他の旅行形態に比べて「高知」が少なく、「東洋・室戸」、「いの」、「黒潮・四万十市」が多くなっている。

主な旅行目的別（P137：表 2-4-2）の傾向として、大半の項目で「高知」が目立って多くなっている。上位 5 項目の旅行目的をみると「名所旧跡」は「高知」、「南国・香美」を合計した割合が 7 割を超えている。「自然見物」は「高知」の割合が若干少なく、「土佐清水・大月」、「黒潮・四万十市」などが多くなっている。「食べ物」は「高知」、「須崎・中土佐」の割合が多くなっており、「須崎・中土佐」は全体平均を大きく上回っている。「帰省」は全体平均と似ており、特に目立った傾向は無かった。「なんとなく」は「高知」が全体平均より少ないのが特徴で、その一方で「東洋・室戸」の割合が多くなっている。

## 2-1. 発地別立寄市町村割合

(表 2-1-1) 発地別立寄市町村割合 (件) [ 発地ブロック別 ]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)	
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月				
北海道・東北 (n=26)	6	4			4		42	1			2			13		10	82	0.9	3.2	
関東 (n=357)	66	35	2	13	102		455	34	1	3	34	6	20	134	6	101	1,012	11.2	2.8	
北陸・新潟 (n=32)	10	1	1		15		53				1	3		2	8	2	14	110	1.2	3.4
甲信・東海 (n=130)	28	12		6	50	1	160	5		1	10	4	8	22	2	42	371	4.1	2.9	
近畿 (n=777)	159	75	10	24	261	4	873	44	2	3	90	16	31	221	7	187	2,007	22.3	2.6	
中国 (n=444)	80	49	3	29	169	3	522	43		1	39	6	20	91	13	100	1,168	13.0	2.6	
四国 (n=2,120)	408	378	27	115	577	3	1,018	370		13	425	17	68	266	26	230	3,941	43.8	1.9	
九州・沖縄 (n=108)	20	10		2	32	1	115	6	1		7	6	7	43	2	37	289	3.2	2.7	
海外 (n=6)	2						10				1			2		3	18	0.2	3.0	
全体 (n=4,000)	779	564	43	189	1,210	12	3,248	503	4	22	611	55	156	820	58	724	8,998	100.0	2.2	

(表 2-1-2) 発地別立寄市町村割合 (%) [ 発地ブロック別 ]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
北海道・東北 (n=26)	7.3	4.9			4.9		51.2	1.2			2.4			15.9		12.2			
関東 (n=357)	6.5	3.5	0.2	1.3	10.1		45.0	3.4	0.1	0.3	3.4	0.6	2.0	13.2	0.6	10.0			
北陸・新潟 (n=32)	9.1	0.9	0.9		13.6		48.2			0.9	2.7		1.8	7.3	1.8	12.7			
甲信・東海 (n=130)	7.5	3.2		1.6	13.5	0.3	43.1	1.3		0.3	2.7	1.1	2.2	11.3	0.5	11.3			
近畿 (n=777)	7.9	3.7	0.5	1.2	13.0	0.2	43.5	2.2	0.1	0.1	4.5	0.8	1.5	11.0	0.3	9.3			
中国 (n=444)	6.8	4.2	0.3	2.5	14.5	0.3	44.7	3.7		0.1	3.3	0.5	1.7	7.8	1.1	8.6			
四国 (n=2,120)	10.4	9.6	0.7	2.9	14.6	0.1	25.8	9.4		0.3	10.8	0.4	1.7	6.8	0.7	5.8			
九州・沖縄 (n=108)	6.9	3.5		0.7	11.1	0.3	39.8	2.1	0.3		2.4	2.1	2.4	14.9	0.7	12.8			
海外 (n=6)	11.1						55.6				5.6			11.1		16.7			
全体 (n=4,000)	8.7	6.3	0.5	2.1	13.4	0.1	36.1	5.6	0.0	0.2	6.8	0.6	1.7	9.1	0.6	8.0			

※ 白抜き は都道府県・ブロックで1位、太字 は同2位

(表 2-1-3) 発地別立寄市町村割合 (%) [ 四国 ]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
徳島県 (n=186)	14.2	7.8	0.2	2.2	19.3	0.5	36.7	2.9			4.4	0.5	2.0	3.7	0.7	4.9
香川県 (n=358)	5.4	6.9	0.2	4.8	18.0	0.1	35.1	3.0		0.4	8.2	0.5	2.9	6.6	0.6	7.2
愛媛県 (n=516)	6.0	6.6	0.5	3.0	17.3		30.9	10.6		0.1	7.8	1.0	1.3	6.4	1.1	7.5
高知県 (n=1,060)	14.8	13.5	1.2	2.0	10.0		14.9	13.5		0.6	15.7		1.4	7.8	0.4	4.3
四国 (n=2,120)	10.4	9.6	0.7	2.9	14.6	0.1	25.8	9.4		0.3	10.8	0.4	1.7	6.8	0.7	5.8

#### ・立寄観光地の延べ件数

すべての旅行者が立寄った観光地は全体で 8,998 ケ所となっている。その内訳を発地ブロック別にみると、四国が延べ 3,941 ケ所 (43.8%) と最も多く、次いで近畿が 2,007 ケ所 (22.3%)、中国が 1,168 ケ所 (13.0%)、関東が 1,012 ケ所 (11.2%) となっている。

#### ・上位を占めた立寄観光地の市町村

すべての旅行者が立寄った観光地を市町村別でみると、全体では「高知」が 3,248 件 (36.1%) と最も多く、次いで「南国・香美」が 1,210 件 (13.4%)、「黒潮・四万十市」が 820 件 (9.1%)、「東洋・室戸」が 779 件 (8.7%)、「土佐清水・大月」が 724 件 (8.0%) となっている。

#### ・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」への立寄り件数が最も多くなっている。2番目に立ち寄りが多かった市町村は、「北陸・新潟」、「甲信・東海」、「近畿」、「中国」、「四国」が「南国・香美」、「北海道・東北」、「関東」、「九州・沖縄」が「黒潮・四万十市」、「海外」が「土佐清水・大月」と発地ブロックにより傾向が分かっている。

なお、県内旅行者は「須崎・中土佐」、「高知」、「東洋・室戸」、「奈半利・田野等」、「いの」の割合が多くなっている (P133 : 表 2-1-3)。

## 2-2. 年代別立寄市町村割合

(表 2-2-1) 年代別立寄市町村割合 (件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	榑原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=59)	12	5	1	4	20	0	61	9	0	0	4	0	1	9	0	8	134	1.5	2.3
20代 (n=509)	73	49	2	32	184	2	503	47	0	3	47	12	10	127	2	83	1,176	13.1	2.3
30代 (n=900)	143	89	6	60	379	2	767	83	1	0	126	13	31	181	10	173	2,064	22.9	2.3
40代 (n=966)	174	123	11	55	319	3	810	107	2	7	150	14	44	227	7	189	2,242	24.9	2.3
50代 (n=734)	163	149	10	19	153	4	541	110	0	3	146	12	37	133	21	134	1,635	18.2	2.2
60代以上 (n=832)	214	149	13	19	155	1	566	147	1	9	138	4	33	143	18	137	1,747	19.4	2.1
全体 (n=4,000)	779	564	43	189	1,210	12	3,248	503	4	22	611	55	156	820	58	724	8,998	100.0	2.2

(表 2-2-2) 年代別立寄市町村割合 (%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	榑原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=59)	9.0	3.7	0.7	3.0	<b>14.9</b>		45.5	6.7			3.0		0.7	6.7		6.0			
20代 (n=509)	6.2	4.2	0.2	2.7	<b>15.6</b>	0.2	42.8	4.0		0.3	4.0	1.0	0.9	10.8	0.2	7.1			
30代 (n=900)	6.9	4.3	0.3	2.9	<b>18.4</b>	0.1	37.2	4.0	0.0		6.1	0.6	1.5	8.8	0.5	8.4			
40代 (n=966)	7.8	5.5	0.5	2.5	<b>14.2</b>	0.1	36.1	4.8	0.1	0.3	6.7	0.6	2.0	10.1	0.3	8.4			
50代 (n=734)	<b>10.0</b>	9.1	0.6	1.2	9.4	0.2	33.1	6.7		0.2	8.9	0.7	2.3	8.1	1.3	8.2			
60代以上 (n=832)	<b>12.3</b>	8.5	0.7	1.1	8.9	0.1	32.4	8.4	0.1	0.5	7.9	0.2	1.9	8.2	1.0	7.8			
全体 (n=4,000)	8.7	6.3	0.5	2.1	<b>13.4</b>	0.1	36.1	5.6	0.0	0.2	6.8	0.6	1.7	9.1	0.6	8.0			

※ **白抜き** は年代で1位、**太字** は同2位

### ・年代別にみた立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、40代の旅行者が966組で2,242ヶ所(平均2.3ヶ所)と全体の24.9%となっている。次いで30代が900組で2,064ヶ所(平均2.3ヶ所)、60代以上が832組で1,747ヶ所(平均2.1ヶ所)、50代が734組で1,635ヶ所(平均2.2ヶ所)、20代が509組で1,176ヶ所(平均2.3ヶ所)、10代が59組で134ヶ所(平均2.3ヶ所)となっている。

### ・年代による立寄観光地の傾向

- 10代:「高知」の45.5%、「香南」の3.0%が年代別で最も多い割合となっている。
- 20代:「高知」の42.8%が年代別で2番目に多くっており、次いで多くなった「南国・香美」も15.6%と全体平均を上回っている。
- 30代:「高知」に次いで多くなった「南国・香美」は、18.4%と全体平均を上回り、年代別で最も多くなっている。
- 40代:「高知」の割合は全体平均と同じ36.1%で、その後も全体と良く似た傾向になっている。
- 50代・60代以上:「東洋・室戸」や「奈半利・田野等」などで全体平均を上回っている。一方で、「高知」、「南国・香美」などで全体平均を下回っている。

## 2-3. 旅行形態別立寄市町村割合

(表 2-3-1) 旅行形態別立寄市町村割合 (件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,899)	557	422	33	159	1,000	8	2,321	343	2	14	434	26	123	582	41	528	6,593	73.3	2.3
友人・知人 (n=607)	95	87	7	19	137	2	641	48	1	5	100	17	16	143	8	106	1,432	15.9	2.4
団体 (n=33)	7	3	0	0	8	0	39	8	0	0	2	0	0	3	0	0	70	0.8	2.1
その他 (n=34)	4	3	0	0	9	0	37	5	0	0	7	1	0	3	0	0	69	0.8	2.0
一人 (n=427)	116	49	3	11	56	2	210	99	1	3	68	11	17	89	9	90	834	9.3	2.0
全体 (n=4,000)	779	564	43	189	1,210	12	3,248	503	4	22	611	55	156	820	58	724	8,998	100.0	2.2

(表 2-3-2) 旅行形態別立寄市町村割合 (%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,899)	8.4	6.4	0.5	2.4	<b>15.2</b>	0.1	<b>35.2</b>	5.2	0.0	0.2	6.6	0.4	1.9	8.8	0.6	8.0			
友人・知人 (n=607)	6.6	6.1	0.5	1.3	9.6	0.1	<b>44.8</b>	3.4	0.1	0.3	7.0	1.2	1.1	<b>10.0</b>	0.6	7.4			
団体 (n=33)	10.0	4.3			<b>11.4</b>		<b>55.7</b>	<b>11.4</b>			2.9			4.3					
その他 (n=34)	5.8	4.3			<b>13.0</b>		<b>53.6</b>	7.2			10.1	1.4		4.3					
一人 (n=427)	<b>13.9</b>	5.9	0.4	1.3	6.7	0.2	<b>25.2</b>	11.9	0.1	0.4	8.2	1.3	2.0	10.7	1.1	10.8			
全体 (n=4,000)	8.7	6.3	0.5	2.1	<b>13.4</b>	0.1	<b>36.1</b>	5.6	0.0	0.2	6.8	0.6	1.7	9.1	0.6	8.0			

※ **白抜き** は旅行形態で1位、**太字** は同2位

### ・旅行形態別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、集計対象の多い“家族”が2,899組で6,593ヶ所(平均2.3ヶ所)と全体の73.3%を占めている。次いで“友人・知人”が607組で1,432ヶ所(平均2.4ヶ所)、“一人”が427人で834ヶ所(平均2.0ヶ所)、“団体”が33組で70ヶ所(平均2.1ヶ所)、“その他”が34組で69ヶ所(平均2.0ヶ所)となっている。

### ・旅行形態による立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多い割合を占めている。特に“団体”が55.7%と多くなっている。2番目に多くなった市町村は、“家族”と“団体”と“その他”が「南国・香美」、「一人」が「東洋・室戸」、「友人・知人」が「黒潮・四万十市」となっている。

- 家族：集計対象の大半を占めているため全体平均に近くなっているが、「南国・香美」は全体平均を1.8ポイント上回っている。
- 友人・知人：「高知」、「黒潮・四万十市」などは全体平均を上回っている一方で、「南国・香美」、「いの」、「東洋・室戸」は平均を下回っている。
- 団体およびその他：「高知」が半数以上を占めており、立寄市町村が限られている。
- 一人：「いの」、「東洋・室戸」、「土佐清水・大月」、「黒潮・四万十市」などは平均を上回っている一方で、「高知」、「南国・香美」などは平均を大きく下回っている。

## 2-4. 旅行目的別立寄市町村割合

(表 2-4-1) 旅行目的別立寄市町村割合 (件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
自然見物 (n=702)	151	141	4	33	156	2	529	53		4	44	14	33	255	8	295	1,722	19.1	2.5
休養 (n=222)	36	47	2	7	40		168	35		1	82	3	13	26	3	30	493	5.5	2.2
祭り (n=43)	4	12	1	2	6	1	33	9		2	6		4	10	1	11	102	1.1	2.4
アウトドア (n=124)	19	3			11	1	66	30	2	3	16	6	5	65	2	44	273	3.0	2.2
スポーツ (n=14)	3	2	1	1	5		20	1						2			35	0.4	2.5
食べ物 (n=627)	100	45	8	23	167	2	802	75		4	206	13	15	82	2	60	1,604	17.8	2.6
神仏霊場 (n=108)	46	2	1	2	25		49	2			3		44	8	39	71	292	3.2	2.7
買い物 (n=235)	55	10	1	5	11		94	59		1	90	1	2	60		3	392	4.4	1.7
名所旧跡 (n=1,001)	109	155	12	76	614	1	990	55			21	4	12	123	1	105	2,278	25.3	2.3
なんとなく (n=402)	142	68	7	16	52	4	167	118		5	67	12	13	55	1	53	780	8.7	1.9
観光・その他 (n=46)	8	8	1	2	8	1	42	6			5		2	8	1	6	98	1.1	2.1
帰省・仕事 (n=448)	98	65	5	22	111		279	54	2	1	70	2	12	119		45	885	9.8	2.0
その他 (n=28)	8	6			4		9	6		1	1		1	7		1	44	0.5	1.6
全体 (n=4,000)	779	564	43	189	1,210	12	3,248	503	4	22	611	55	156	820	58	724	8,998	100.0	2.2

(表 2-4-2) 旅行目的別立寄市町村割合 (%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
自然見物 (n=702)	8.8	8.2	0.2	1.9	9.1	0.1	<b>30.7</b>	3.1		0.2	2.6	0.8	1.9	14.8	0.5	<b>17.1</b>			
休養 (n=222)	7.3	9.5	0.4	1.4	8.1		<b>34.1</b>	7.1		0.2	<b>16.6</b>	0.6	2.6	5.3	0.6	6.1			
祭り (n=43)	3.9	<b>11.8</b>	1.0	2.0	5.9	1.0	<b>32.4</b>	8.8		2.0	5.9		3.9	9.8	1.0	10.8			
アウトドア (n=124)	7.0	1.1			4.0	0.4	<b>24.2</b>	11.0	0.7	1.1	5.9	2.2	1.8	<b>23.8</b>	0.7	16.1			
スポーツ (n=14)	8.6	5.7	2.9	2.9	<b>14.3</b>		<b>57.1</b>	2.9						5.7					
食べ物 (n=627)	6.2	2.8	0.5	1.4	10.4	0.1	<b>50.0</b>	4.7		0.3	<b>12.8</b>	0.8	0.9	5.1	0.1	3.7			
神仏霊場 (n=108)	15.8	0.7	0.3	0.7	8.6		<b>16.8</b>	0.7			1.0		15.1	2.7	13.4	<b>24.3</b>			
買い物 (n=235)	14.0	2.6	0.3	1.3	2.8		<b>24.0</b>	15.1		0.3	<b>23.0</b>	0.3	0.5	15.3		0.8			
名所旧跡 (n=1,001)	4.8	6.8	0.5	3.3	<b>27.0</b>	0.0	<b>43.5</b>	2.4			0.9	0.2	0.5	5.4	0.0	4.6			
なんとなく (n=402)	<b>18.2</b>	<b>8.7</b>	0.9	2.1	<b>6.7</b>	0.5	<b>21.4</b>	15.1		0.6	8.6	1.5	1.7	7.1	0.1	6.8			
観光・その他 (n=46)	<b>8.2</b>	<b>8.2</b>	1.0	2.0	<b>8.2</b>	1.0	<b>42.9</b>	6.1			5.1		2.0	<b>8.2</b>	1.0	6.1			
帰省・仕事 (n=448)	11.1	7.3	0.6	2.5	12.5		<b>31.5</b>	6.1	0.2	0.1	7.9	0.2	1.4	<b>13.5</b>		5.1			
その他 (n=28)	<b>18.2</b>	13.6			9.1		<b>20.5</b>	13.6		2.3	2.3		2.3	15.9		2.3			
全体 (n=4,000)	8.7	6.3	0.5	2.1	<b>13.5</b>	0.1	<b>36.1</b>	5.6	0.0	0.2	6.8	0.6	1.7	9.1	0.6	8.1			

※ 白抜き は旅行目的で1位、太字 は同2位

### ・旅行目的別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“名所旧跡”が1,001組で2,278ヶ所(平均2.3ヶ所)と全体の25.3%となっている。次いで“自然見物”が702組で1,722ヶ所(平均2.5ヶ所)、“食べ物”が627組で1,604ヶ所(平均2.6ヶ所)、“帰省・仕事”が448組で885ヶ所(平均2.0ヶ所)、“なんとなく”が402組で780ヶ所(平均1.9ヶ所)、“休養”が222組で493ヶ所(平均2.2ヶ所)となっている。



#### ・旅行目的による立寄り市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めたが、“神仏霊場”は「土佐清水・大月」が最も多くなっている。2番目に多くなった市町村は、“名所旧跡”は「南国・香美」、 “自然見物”は「土佐清水・大月」、 “食べ物”と“買い物”と“休養”は「須崎・中土佐」、 “帰省・仕事”と“アウトドア”は「黒潮・四万十市」、 “なんとなく”は「東洋・室戸」、 “神仏霊場”は「高知」となっている。

- 名所旧跡：「高知」が43.5%と多く、「南国・香美」も27.0%と目立って多くなっている。
- 自然見物：「高知」や「南国・香美」が少なくなっており、名所旧跡と正反対の傾向がある。一方、「奈半利・田野等」、「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などが全体平均を超えて多くなっている。
- 食べ物：「高知」が50.0%、「須崎・中土佐」が12.8%と全体平均を大きく上回っている。
- 帰省・仕事：「黒潮・四万十市」が13.5%と全体平均を上回っているが、各地域に立寄っており、他に目立った傾向は無かった。
- なんとなく：「高知」が21.4%と少なくなっており、県内各地を幅広く立寄っている。
- 買い物：「高知」、「須崎・中土佐」、「黒潮・四万十市」、「いの」の4地域が多くなっており、その合計は77.4%と大半を占めている。
- 休養：「高知」、「須崎・中土佐」が多くなっている。
- アウトドア：「高知」、「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」、「いの」の地域で10%を超えている。
- 神仏霊場：「土佐清水・大月」、「宿毛・三原」、「四万十町」が多くなっている。一方で「奈半利・田野等」、「香南」、「いの」は少なくなっている。

### 3. 周遊ルート分析

- 報告内容について

この項目では、平成 27 年観光統計調査で得られた、「訪問した（する予定の）観光地」データを基に、旅行者（発地ブロック別、旅行形態別）がどのような順序でどの県内地域を観光したか、その周遊性の高いルートを分析している。

- 集計方法について

- ・ 「訪問した（する予定の）観光地」を下記の周遊7エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。
- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。  
※例 「高知市」-「高知市」-「東部」の場合、「高知市」-「東部」として集計。
- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外の5ブロックからは入込が少数のため、この5ブロックを合計し、“その他”として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

- 周遊7エリア

東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村  
物部川 : 香南市、南国市、香美市  
高知市 : 高知市  
仁淀川 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町  
高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町  
幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町  
嶺北 : 本山町、大豊町、土佐町、大川村

## ● 周遊ルートの傾向、および特徴

平成 27 年度の周遊ルート分析について、その傾向や特徴を記載する。

すべての県外旅行者の周遊ルート（P142：表 3-1-1-1）をみると、「高知市」エリアのみで観光を終える割合が 13.8%と最も多くなっている。また、上位 4 位は単一エリア内で観光を終えた周遊ルートが占めている。

主な発地ブロック別で傾向をみると、四国ブロック（P144：表 3-1-2-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが多くなっている。広範囲に移動するルートでは、「高知市」と「物部川」を含むルートが上位になっている。

近畿ブロック（P146：表 3-1-3-1）は「高知市」エリアのみの単一ルートが最も多く、「幡多」のみも上位になっている。広範囲に移動するルートでは、四国ブロックと同様に、「高知市」と「物部川」を含むルートが上位になっている。

中国ブロック（P148：表 3-1-4-1）は「高知市」エリアのみの単一ルートが最も多くなっており、一方で、「物部川」のみ、「東部」のみが全体平均を下回っている。

関東ブロック（P150：表 3-1-5-1）とその他ブロック（P152：表 3-1-6-1）は、「高知市」のみの単一ルートが最も多くなっている。広範囲に移動するルートでは、「高知市」と「幡多」を含むルートが上位になっている。

県内旅行者（P154：表 3-1-7-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが上位を占めているのが特徴で、「東部」のみが 1 位となっている。

旅行形態別で傾向をみると、家族旅行（P156：表 3-2-1-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが上位 6 位を占め、「東部」のみ、「物部川」のみ、「高知市」のみ、「幡多」のみ、「高幡」のみ、「仁淀川」のみの順で多くなっており、「東部」のみと「物部川」のみの割合は全体平均を大きく上回っている。

友人・知人との旅行（P158：表 3-2-2-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが上位を占め、「高知市」のみ、「東部」のみ、「幡多」のみ、「高幡」のみの順で多くなっている。また、全体平均と比べ、「高知市」のみ、「東部」のみ、「高幡」のみの割合が目立って多くなっている。

団体旅行（P160：表 3-2-3-1）は、「高知市」のみが多くなっている。広範囲に移動するルートでは、「高知市」と「物部川」、「仁淀川」と「高知市」を含むルートが多くなっている。

一人旅 (P162 : 表 3-2-4-1) は、単一エリアで観光を終えるルートが上位 6 位を占め、「幡多」のみ、「仁淀川」のみ、「東部」のみ、「高知市」のみ、「高幡」のみ、「物部川」のみの順で多くなっており、その中でも「幡多」のみ、「東部」のみは全体平均を大きく上回っている。エリアを越える周遊ルートの割合は、少なくなっている。

### 3-1. 発地別周遊ルート

#### 3-1-1. 県外旅行者全体

すべての県外旅行者 2,940 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-1-1)周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					407	13.8%
幡多					324	11.0%
物部川					271	9.2%
東部					229	7.8%
物部川	→	高知市			189	6.4%
高知市	→	物部川			174	5.9%
高知市	→	幡多			119	4.0%
高幡					101	3.4%
幡多	→	高知市			94	3.2%
東部	→	高知市			87	3.0%

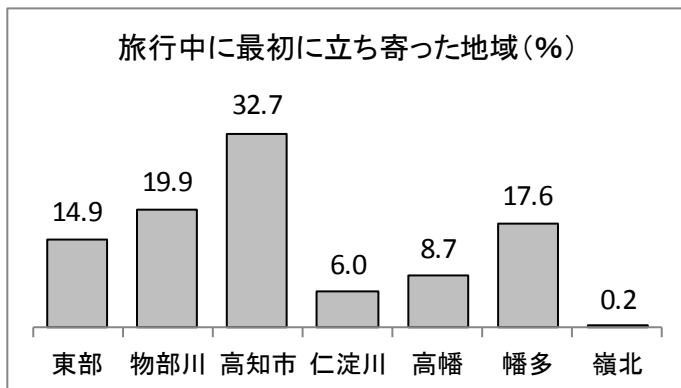
#### ・上位を占めた周遊ルート

県外旅行者 2,940 組の周遊ルートを見ると、単一エリア内で観光を終えた周遊ルートが上位 4 位までを占めている。

占める割合の多い順で周遊ルートを見ると、「高知市」を訪問し、他エリアに立寄りがない旅行者が 407 組 (13.8%) で最も多くなっている。次いで、「幡多」のみが 324 組 (11.0%)、「物部川」のみが 271 組 (9.2%)、「東部」のみが 229 組 (7.8%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄ったエリアは、「高知市」が最も多く 32.7%、次いで「物部川」が 19.9%、「幡多」が 17.6%、「東部」が 14.9%、「高幡」が 8.7%、「仁淀川」が 6.0%、「嶺北」が 0.2%となっている。

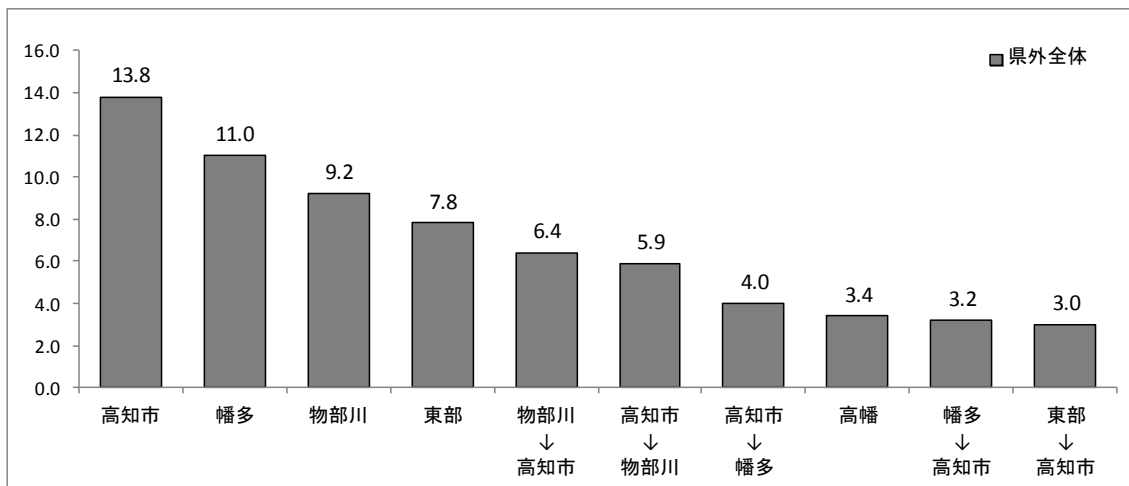


・周遊ルートの傾向

他エリアへの移動を伴う周遊ルートに限って上位をみると、「物部川」から「高知市」の 6.4%、「高知市」から「物部川」の 5.9%、「高知市」から「幡多」の 4.0%などが多くなっている (図 3-1-1-2)。

このように「高知市」を含む他エリアへの移動を伴う周遊ルートが多くなっている。

(図 3-1-1-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 上位 10 位まで ]



### 3-1-2. 四国

高知県をのぞく四国3県からの旅行者1,060組の周遊ルートの上位10位は以下の通りになっている。

(表 3-1-2-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
物部川					154	14.5%
高知市					139	13.1%
東部					116	10.9%
幡多					110	10.4%
物部川	→	高知市			75	7.1%
高知市	→	物部川			58	5.5%
高幡					57	5.4%
仁淀川					48	4.5%
高幡	→	幡多			33	3.1%
東部	→	高知市			30	2.8%

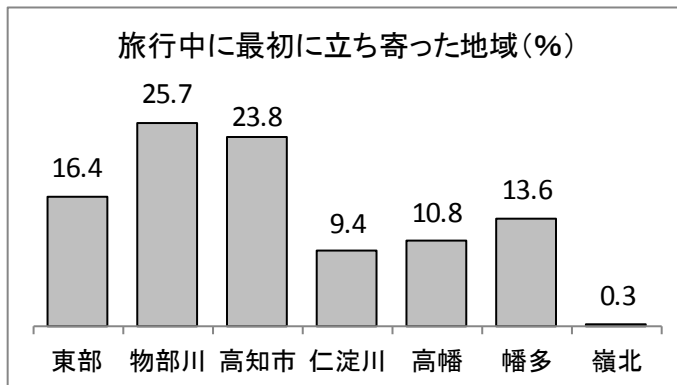
#### ・上位を占めた周遊ルート

四国3県の旅行者1,060組の周遊ルートを見ると、「物部川」のみを訪問した旅行者が154組(14.5%)と最も多くなっている。次いで「高知市」のみが139組(13.1%)、「東部」のみが116組(10.9%)、「幡多」のみが110組(10.4%)と続いている。このように、上位を単一エリア内で観光を終える周遊ルートが占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位をみると、「物部川」から「高知市」の75組(7.1%)、「高知市」から「物部川」の58組(5.5%)が多くなっている。

・周遊ルート of 玄関口

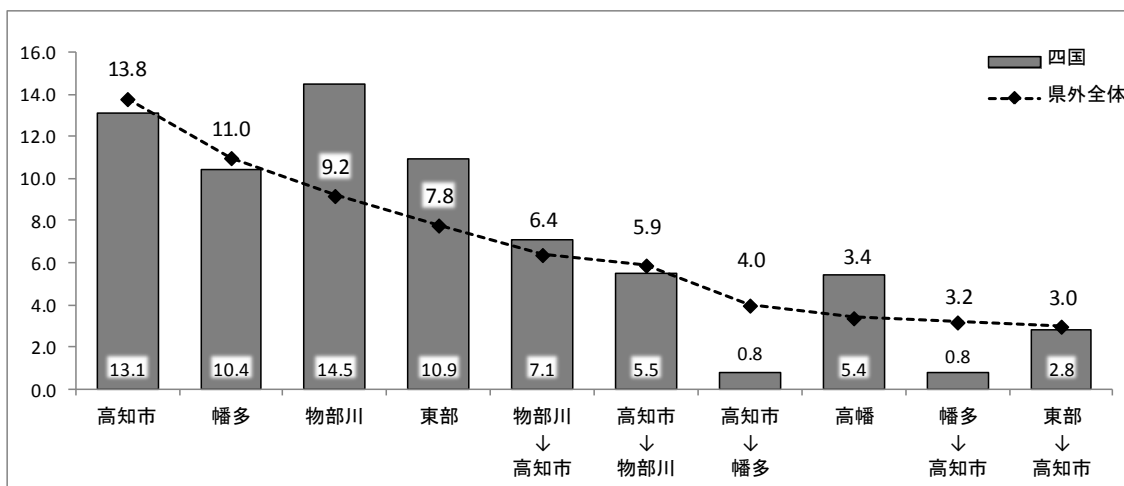
旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは、「物部川」が最も多く 25.7%、次いで「高知市」が 23.8%、「東部」が 16.4%、「幡多」が 13.6%、「高幡」が 10.8%、「仁淀川」が 9.4%、「嶺北」が 0.3% となっている。



・周遊ルートの傾向

主な周遊ルートでは、「物部川」のみ、「東部」のみ、「高幡」のみで観光を終えた割合が、県外全体より上回っている。その他のルートでは、「高知」から「幡多」、「幡多」から「高知」が目立って少なくなっている (図 3-1-2-2)。

(図 3-1-2-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]





### 3-1-3. 近畿

近畿ブロックからの旅行者 777 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-3-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					110	14.2%
幡多					95	12.2%
東部					60	7.7%
物部川	→	高知市			52	6.7%
高知市	→	物部川			51	6.6%
物部川					50	6.4%
高知市	→	幡多			36	4.6%
幡多	→	高知市			29	3.7%
東部	→	高知市			25	3.2%
高幡	→	幡多			24	3.1%

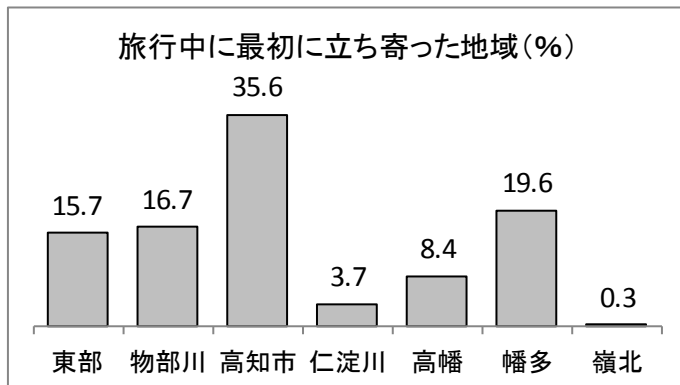
#### ・上位を占めた周遊ルート

近畿ブロックの旅行者 777 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 110 組 (14.2%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 95 組 (12.2%)、「東部」のみが 60 組 (7.7%) と続いている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位をみると、「物部川」から「高知市」の 52 組 (6.7%)、「高知市」から「物部川」の 51 組 (6.6%)、「高知市」から「幡多」の 36 組 (4.6%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

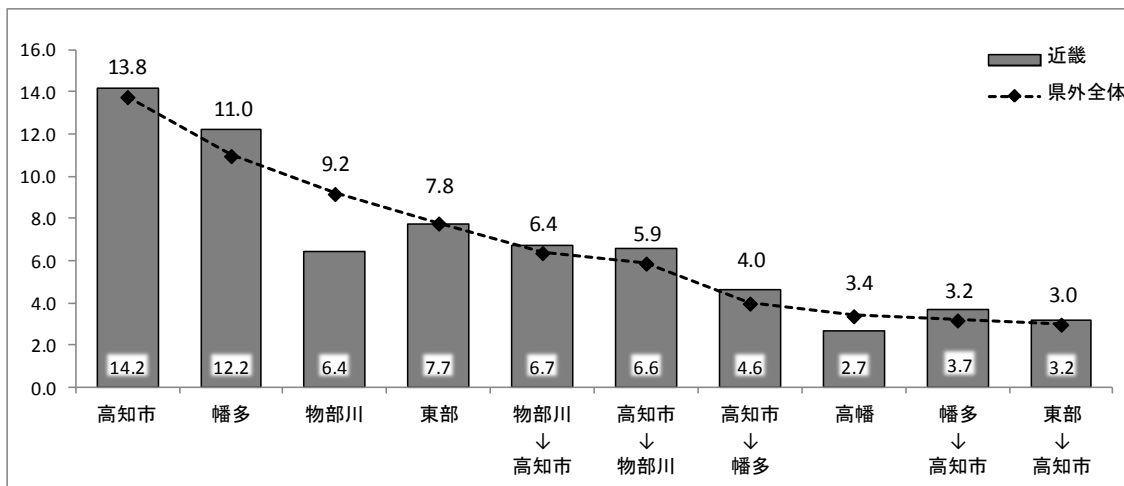
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 35.6%、次いで「幡多」が 19.6%、「物部川」が 16.7%、「東部」が 15.7%、「高幡」が 8.4%、「仁淀川」が 3.7%、「嶺北」が 0.3%となっている。



・周遊ルート of 傾向

主な周遊ルートでは、「物部川」のみ、「高幡」のみで観光を終えた割合が、県外全体より下回っている。その他では、県外全体とほぼ同じ傾向となっている (図 3-1-3-2)。

(図 3-1-3-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-1-4. 中国

中国ブロックからの旅行者 444 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-4-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

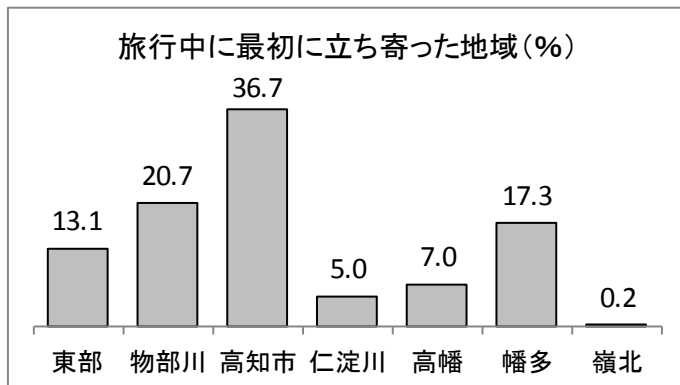
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					73	16.4%
幡多					54	12.2%
物部川	→	高知市			37	8.3%
高知市	→	物部川			34	7.7%
物部川					34	7.7%
東部					21	4.7%
東部	→	高知市			16	3.6%
高知市	→	東部			14	3.2%
幡多	→	高知市			13	2.9%
高幡	→	幡多			13	2.9%

#### ・上位を占めた周遊ルート

中国ブロックの旅行者 444 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 73 組 (16.4%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 54 組 (12.2%)、「物部川」から「高知市」が 37 組 (8.3%)、「高知市」から「物部川」と「物部川」のみが 34 組 (7.7%) と続いている。

・周遊ルート of 玄関口

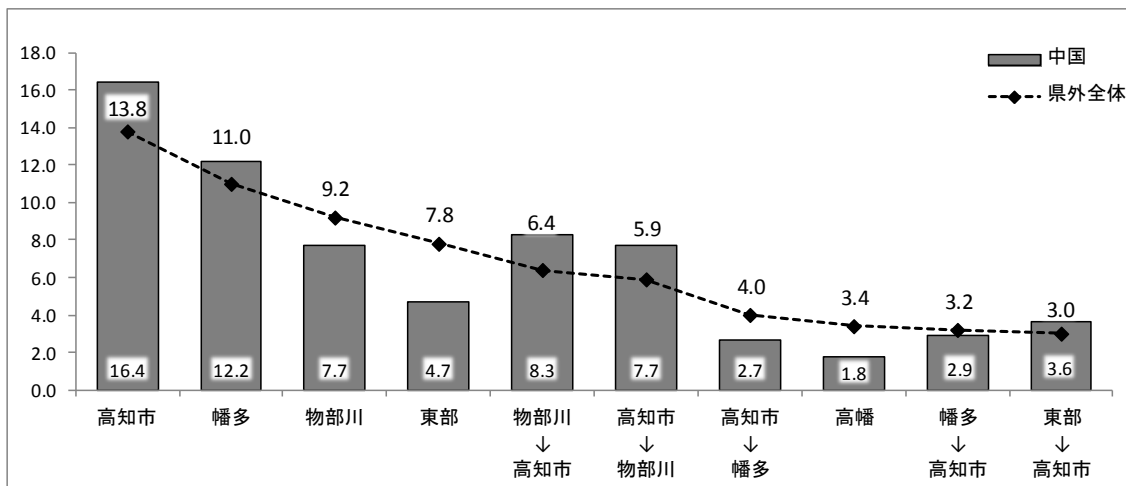
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 36.7%、次いで「物部川」が 20.7%、「幡多」が 17.3%、「東部」が 13.1%、「高幡」が 7.0%、「仁淀川」が 5.0%、「嶺北」が 0.2%となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ、「幡多」のみ以外の単一ルートで観光を終えた割合が多くなっている。その他のルートでは、「物部川」から「高知市」、「高知市」から「物部川」のルートが多い傾向となっている (図 3-1-4-2)。

(図 3-1-4-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-1-5. 関東

関東ブロックからの旅行者 357 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-5-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

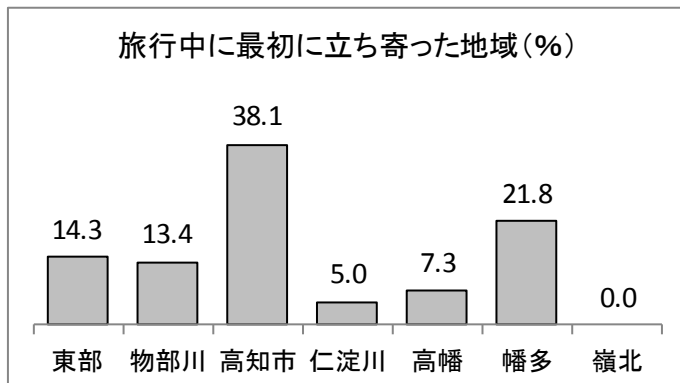
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					49	13.7%
幡多					36	10.1%
高知市	→	幡多			30	8.4%
幡多	→	高知市			22	6.2%
物部川					20	5.6%
東部					19	5.3%
物部川	→	高知市			12	3.4%
高知市	→	物部川			12	3.4%
東部	→	高知市			11	3.1%
高幡					8	2.2%

#### ・上位を占めた周遊ルート

関東ブロックの旅行者 357 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 49 組 (13.7%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 36 組 (10.1%)、「高知市」から「幡多」が 30 組 (8.4%)、「幡多」から「高知市」が 22 組 (6.2%)、「物部川」のみが 20 組 (5.6%) と続いている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 38.1%、次いで「幡多」が 21.8%、「東部」が 14.3%、「物部川」が 13.4%、「高幡」が 7.3%、「仁淀川」が 5.0%となっている。

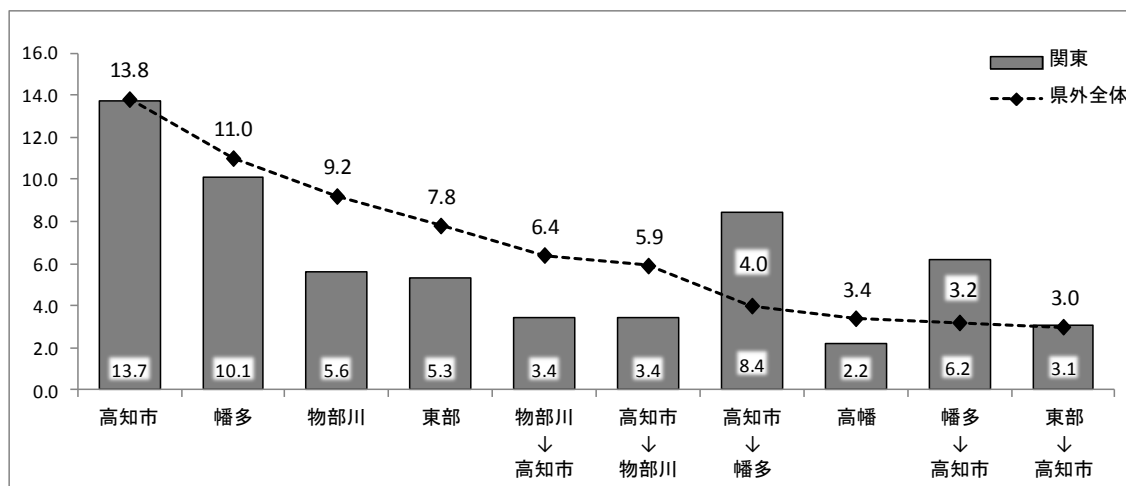


・周遊ルートの傾向

単一エリア内で観光を終えている周遊ルートの割合が、県外全体と比べ少なくなっているのが目立っている。

一方、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市」から「幡多」、「幡多」から「高知市」が多くなっている。(図 3-1-5-2)。

(図 3-1-5-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-1-6. その他(北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外)

その他 5 ブロックからの旅行者 302 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-6-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

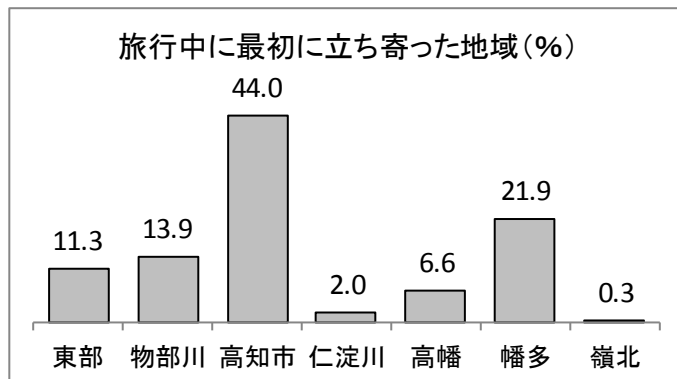
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					36	11.9%
高知市	→	幡多			33	10.9%
幡多					29	9.6%
幡多	→	高知市			21	7.0%
高知市	→	物部川			19	6.3%
高知市	→	東部			15	5.0%
物部川					13	4.3%
東部					13	4.3%
物部川	→	高知市			13	4.3%
東部	→	物部川	→	高知市	8	2.6%

#### ・上位を占めた周遊ルート

その他 5 ブロックの旅行者 302 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 36 組 (11.9%) と最も多くなっている。次いで「高知市」から「幡多」が 33 組 (10.9%)、「幡多」のみが 29 組 (9.6%)、「幡多」から「高知市」が 21 組 (7.0%)、「高知市」から「物部川」のルートが 19 組 (6.3%) と続いている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 44.0%、次いで「幡多」が 21.9%、「物部川」が 13.9%、「東部」が 11.3%、「高幡」が 6.6%、「仁淀川」が 2.0%、「嶺北」が 0.3%となっている。

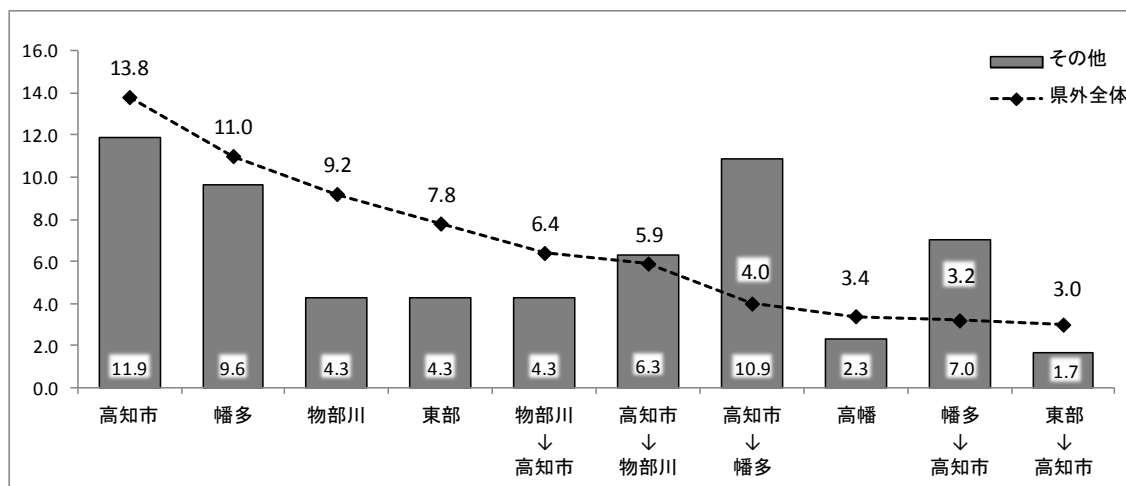


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、単一エリア内で観光を終えている周遊ルートの割合が少なくなっているのが目立っている。

その他のルートでは、「高知市」から「幡多」、「幡多」から「高知市」などが目立って多くなっており、高知県観光の中心が「高知市」という傾向になっている (図 3-1-6-2)。

(図 3-1-6-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]





### 3-1-7. 高知県

高知県からの旅行者 1,060 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-7-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

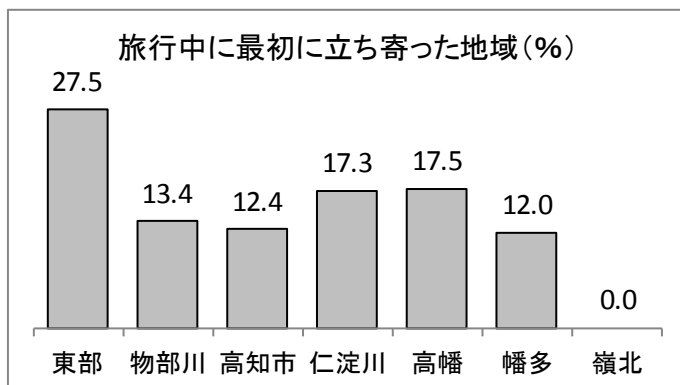
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
東部					278	26.2%
仁淀川					180	17.0%
高幡					165	15.6%
幡多					123	11.6%
物部川					122	11.5%
高知市					109	10.3%
高幡	→	幡多			14	1.3%
高知市	→	物部川			10	0.9%
物部川	→	東部			10	0.9%
物部川	→	高知市			8	0.8%

#### ・上位を占めた周遊ルート

県内旅行者 1,060 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみを訪問した旅行者が 278 組 (26.2%) と最も多くなっている。次いで「仁淀川」のみが 180 組 (17.0%)、「高幡」のみが 165 組 (15.6%)、「幡多」のみが 123 組 (11.6%)、「物部川」のみが 122 組 (11.5%)、「高知市」のみが 109 組 (10.3%) と上位 6 位まで単一エリア内で観光を終える周遊ルートが占めている。

・周遊ルート of 玄関口

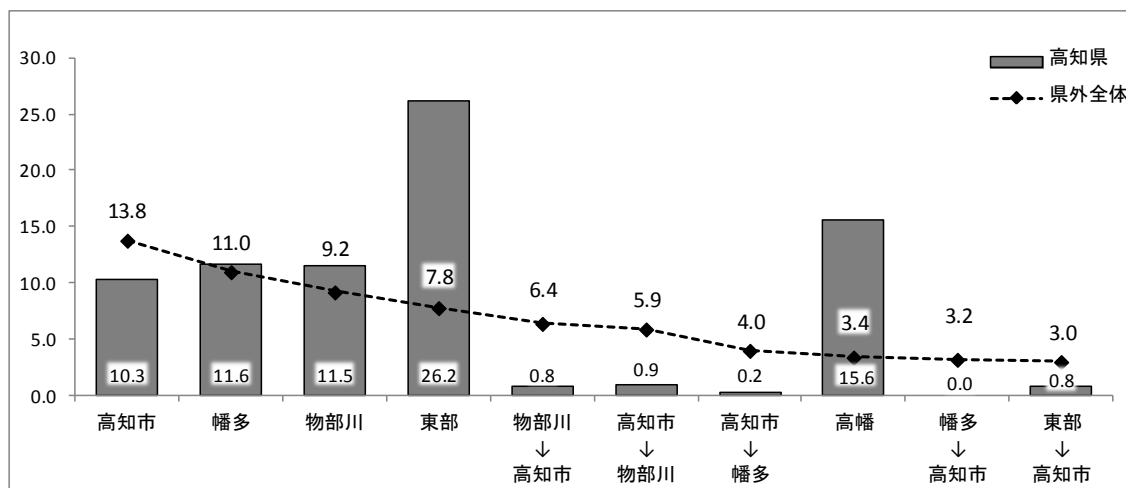
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が最も多く 27.5%、次いで「高幡」が 17.5%、「仁淀川」が 17.3%、「物部川」が 13.4%、「高知市」が 12.4%、「幡多」が 12.0%となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「東部」のみ、「高幡」のみ、「物部川」のみの単一エリアの割合が目立って多くなっている。一方で、「高知市」のみで観光を終える割合は少なくなっている。また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートも県外全体と比べ、少なくなっていることが目立っている (図 3-1-7-2)。

(図 3-1-7-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-2. 旅行形態別周遊ルート

#### 3-2-1. 家族

家族旅行 2,899 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-1-1) 旅行形態別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
東部					353	12.2%
物部川					344	11.9%
高知市					340	11.7%
幡多					307	10.6%
高幡					185	6.4%
仁淀川					159	5.5%
物部川	→	高知市			157	5.4%
高知市	→	物部川			146	5.0%
高知市	→	幡多			94	3.2%
高幡	→	幡多			76	2.6%

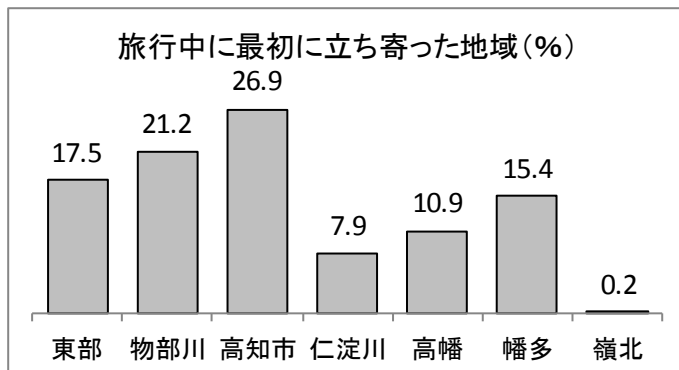
#### ・上位を占めた周遊ルート

家族旅行 2,899 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみを訪問した旅行者が 353 組 (12.2%) と最も多くなっている。次いで「物部川」のみが 344 組 (11.9%)、「高知市」のみが 340 組 (11.7%)、「幡多」のみが 307 組 (10.6%)、「高幡」のみが 185 組 (6.4%)、「仁淀川」のみが 159 組 (5.5%) と続いている。このように、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位 6 位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川」から「高知市」の 157 組 (5.4%)、「高知市」から「物部川」の 146 組 (5.0%)、「高知市」から「幡多」の 94 組 (3.2%)、「高幡」から「幡多」の 76 組 (2.6%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 26.9%、次いで「物部川」が 21.2%、「東部」が 17.5%、「幡多」が 15.4%、「高幡」が 10.9%、「仁淀川」が 7.9%、「嶺北」が 0.2%となっている。

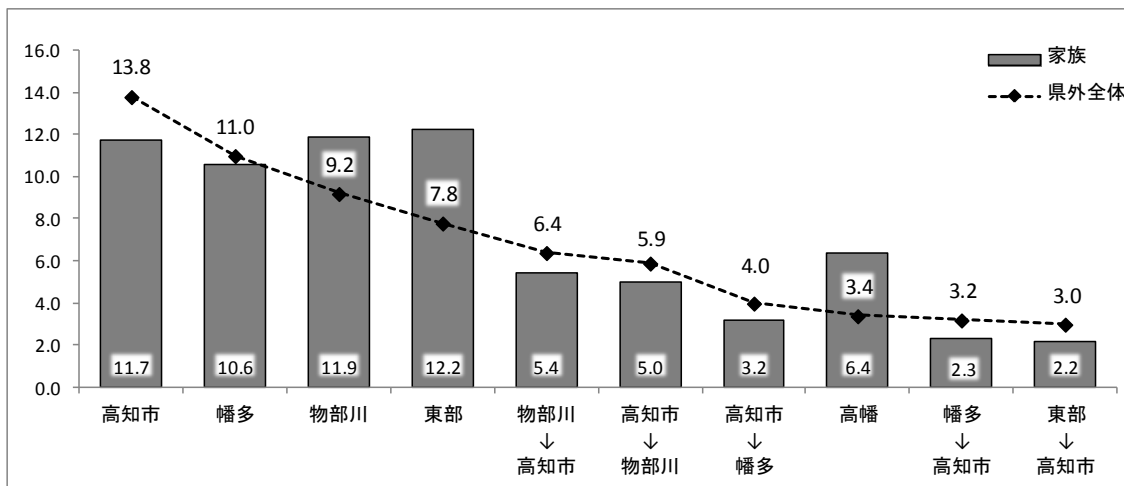


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「東部」のみ、「物部川」のみ、「高幡」のみの割合が多くなっており、「高知市」のみ、「幡多」のみで観光を終える割合が少なくなっている (図 3-2-1-2)。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートは、県外全体と似た傾向となっている。単一のエリアを目的にした訪問が、家族旅行の人気を集めていることが推測される。

(図 3-2-1-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-2-2. 友人・知人

友人・知人との旅行者 607 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-2-1) 旅行形態別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					113	18.6%
東部					84	13.8%
幡多					64	10.5%
高幡					42	6.9%
物部川	→	高知市			33	5.4%
高知市	→	物部川			32	5.3%
物部川					26	4.3%
仁淀川					23	3.8%
東部	→	高知市			21	3.5%
高知市	→	幡多			20	3.3%

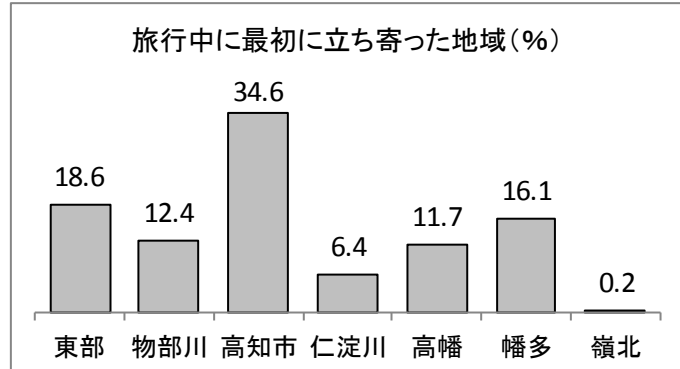
#### ・上位を占めた周遊ルート

友人・知人との旅行者 607 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 113 組 (18.6%) と最も多くなっている。次いで「東部」のみ 84 組 (13.8%)、「幡多」のみが 64 組 (10.5%)、「高幡」のみが 42 組 (6.9%) と続いている。単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位 4 位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川」から「高知市」の 33 組 (5.4%)、「高知市」から「物部川」の 32 組 (5.3%)、「東部」から「高知市」の 21 組 (3.5%)、「高知市」から「幡多」の 20 組 (3.3%) となっている。

### ・周遊ルート of 玄関口

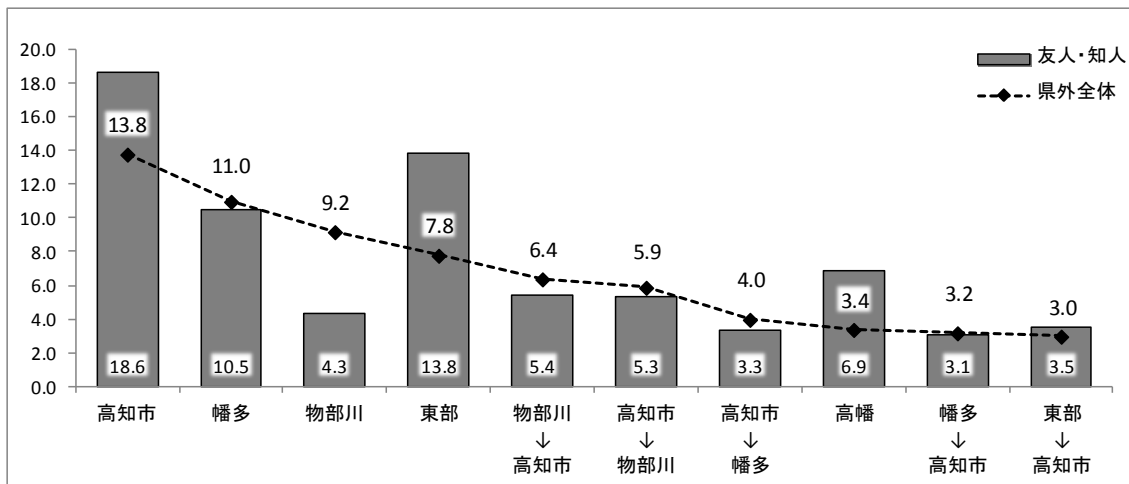
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 34.6%、次いで「東部」が 18.6%、「幡多」が 16.1%、「物部川」が 12.4%、「高幡」が 11.7%、「仁淀川」が 6.4%、「嶺北」が 0.2%となっている。



### ・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ、「東部」のみ、「高幡」のみの割合が目立って多くなっている。一方で、他のエリアへの移動を伴う周遊ルートは、県外全体と比べ下回っている (図 3-2-2-2)。

(図 3-2-2-2) 主な周遊ルート割合 (%) [ 旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-2-3. 団体

団体旅行 33 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-3-1) 旅行形態別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

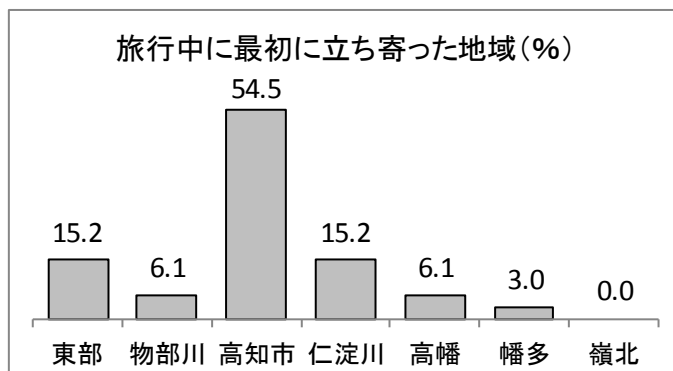
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	13	39.4%
東部	3	9.1%
高知市 → 物部川	3	9.1%
仁淀川	3	9.1%
仁淀川 → 高知市	2	6.1%
幡多	1	3.0%
物部川	1	3.0%
高知市 → 東部	1	3.0%
高知市 → 仁淀川	1	3.0%
(※対象多数のため略)		

#### ・上位を占めた周遊ルート

団体旅行 33 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した団体旅行が 13 組 (39.4%) と最も多くなっている。次いで「東部」のみ、「高知市」から「物部川」、「仁淀川」のみがそれぞれ 3 組 (9.1%)、「仁淀川」から「高知市」が 2 組 (6.1%) と続いている。

### ・周遊ルート of 玄関口

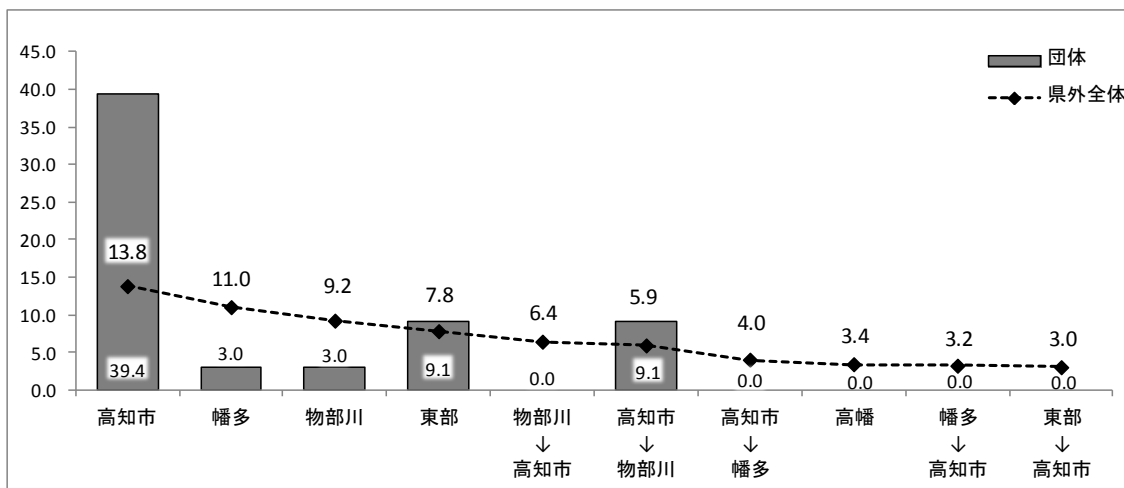
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く54.5%、次いで「東部」と「高幡」がそれぞれ15.2%、「物部川」と「高幡」がそれぞれ6.1%、「幡多」が3.0%となっている。



### ・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみのルートが目立って多くなっている。他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」から「物部川」が多くなっている（図 3-2-3-2）。単一エリアだけで観光を終える割合が多いことから、四国内の他県へ周遊するパック旅行が多かったと推測される。

（図 3-2-3-2）主な周遊ルート割合(%) [ 旅行者全体の上位 10 位との比較 ]





### 3-2-4. 一人

一人旅の旅行者 427 人の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-4-1) 旅行形態別周遊ルート (件) [ 周遊エリア3まで ]

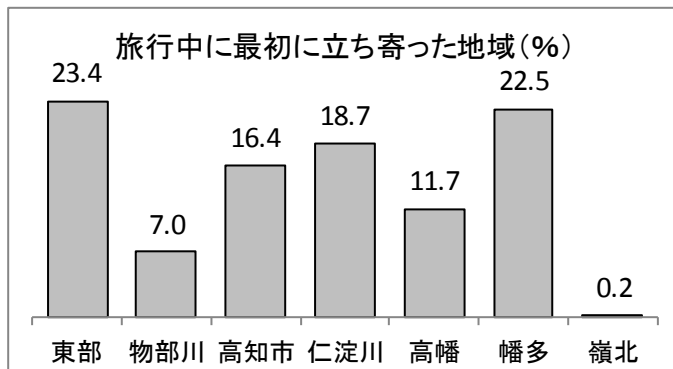
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	人数	割合
幡多					73	17.1%
仁淀川					70	16.4%
東部					64	15.0%
高知市					39	9.1%
高幡					37	8.7%
物部川					20	4.7%
東部	→	高知市			10	2.3%
幡多	→	高知市			9	2.1%
高幡	→	幡多			8	1.9%
高知市	→	幡多			7	1.6%

#### ・上位を占めた周遊ルート

一人旅の旅行者 427 人の周遊ルートを見ると、「幡多」のみを訪問した旅行者が 73 人 (17.1%) と最も多くなっている。次いで「仁淀川」のみが 70 人 (16.4%)、「東部」のみが 64 組 (15.0%)、「高知市」のみが 39 人 (9.1%)、「高幡」のみが 37 人 (8.7%)、「物部川」のみが 20 人 (4.7%) と続いている。このように単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位 6 位までを占めている。

### ・周遊ルート of 玄関口

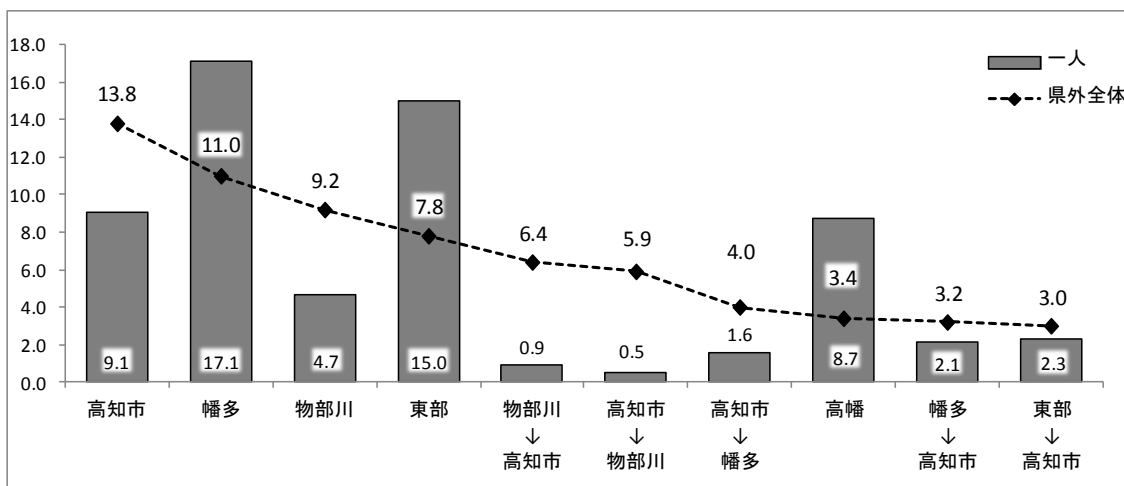
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が最も多く 23.4%、次いで「幡多」が 22.5%、「仁淀川」が 18.7%、「高知」が 16.4%、「高幡」が 11.7%、「物部川」が 7.0%、「嶺北」が 0.2%となっている。



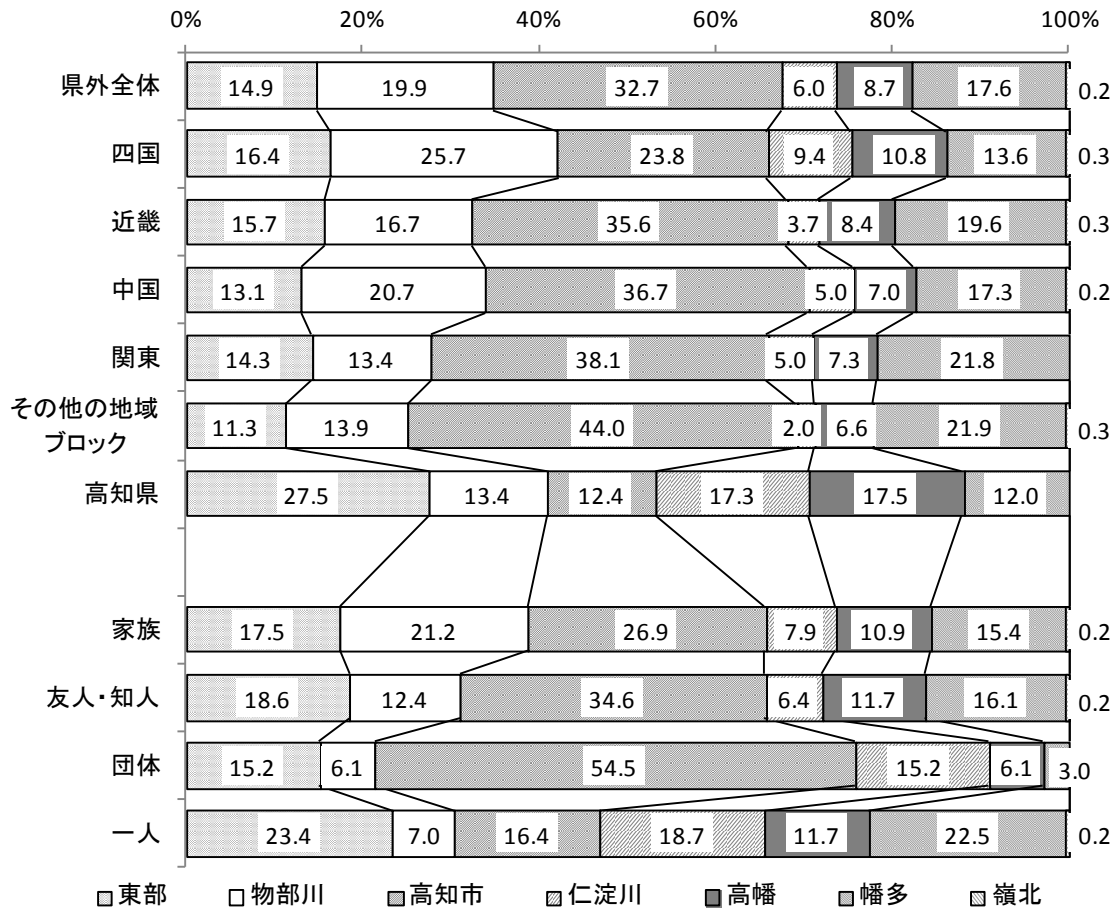
### ・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「幡多」のみ、「東部」のみ、「高幡」のみの割合が目立って多くなっている。一方、「高知市」のみの割合は県外全体を大きく下回っており、単一エリアだけの観光で傾向が分かれている。また、エリアを越える周遊ルートの割合も少なくなっている（図 3-2-4-2）。

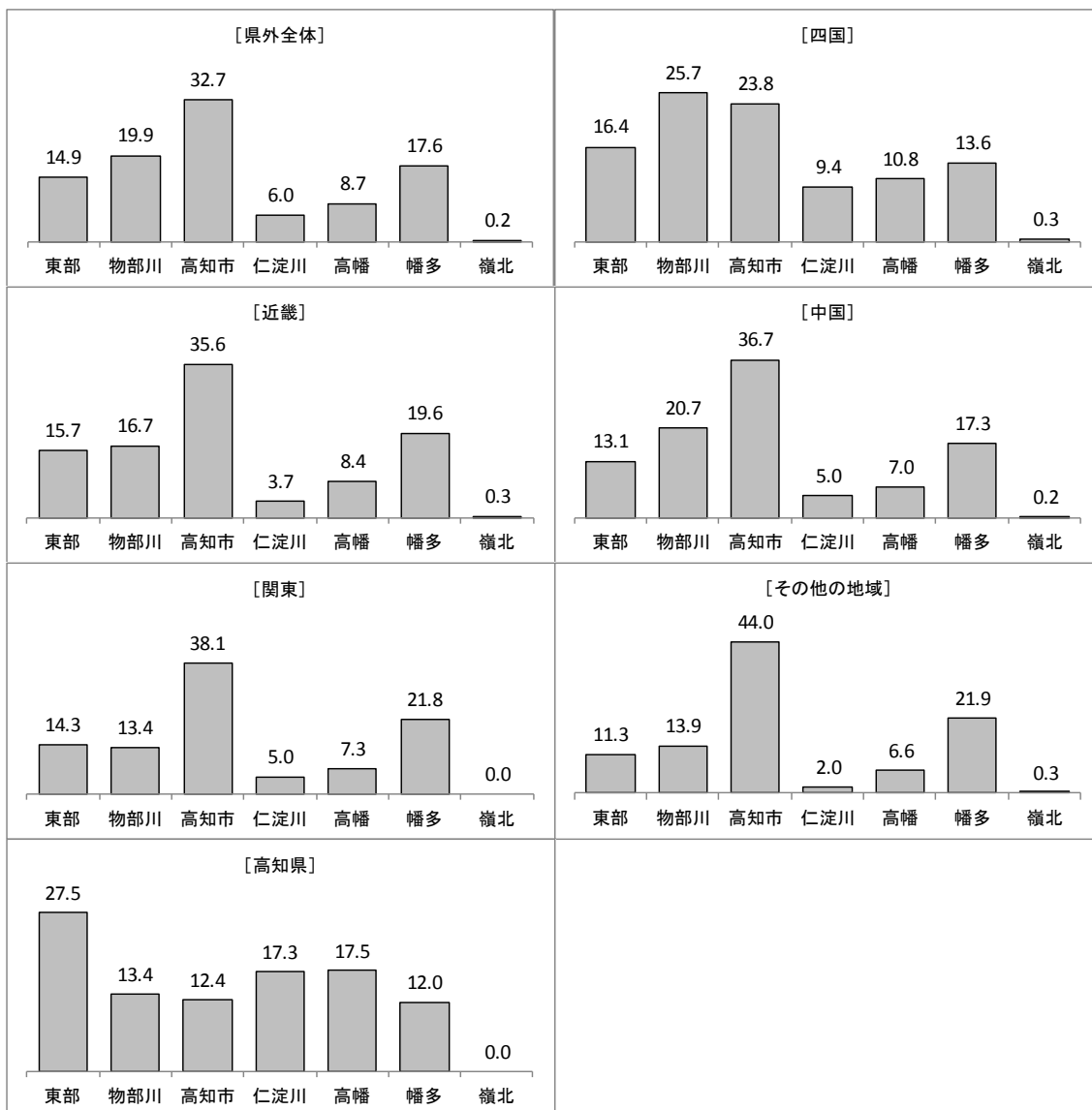
（図 3-2-4-2）主な周遊ルート割合(%) [ 旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



(参考 1)発地ブロック別・旅行形態別旅行中に最初に立寄った地域(%)



(参考 2) 発地ブロック別旅行中に最初に立寄った地域 (%)



(参考 3)旅行形態別旅行中に最初に立寄った地域(%)

